集団宿泊教室の意義や効果について

熊本県立あしきた青少年の家

1

～本時のめあて～

集団宿泊教室（体験活動）の意義や効果を知り、

その高め方について理解する。

2

～本時の流れ～　１５分

1　集団宿泊教室（体験活動）の意義や効果について

2　意義や効果の高め方について

3　申請書の書き方について

3

集団宿泊教室（体験活動）の意義や効果

1　現実の世界や生活などへの興味・関心、意欲の向上
2　問題発見や課題解決能力の育成
3　思考や理解の基盤づくり
4　教科等の「知」の総合化と実践化
5　自己との出会いと成就感や自尊感情の獲得
6　社会性や共に生きる力の育成
7　豊かな人間性や価値観の形成
8　基礎的な体力や心身の健康の保持増進

【文部科学省　体験活動の教育的意義より】

4

集団宿泊教室（体験活動）の意義や効果

1　現実の世界や生活などへの興味・関心、意欲の向上
2　問題発見や課題解決能力の育成
3　思考や理解の基盤づくり
4　教科等の「知」の総合化と実践化
5　自己との出会いと成就感や自尊感情の獲得
6　社会性や共に生きる力の育成
7　豊かな人間性や価値観の形成
8　基礎的な体力や心身の健康の保持増進

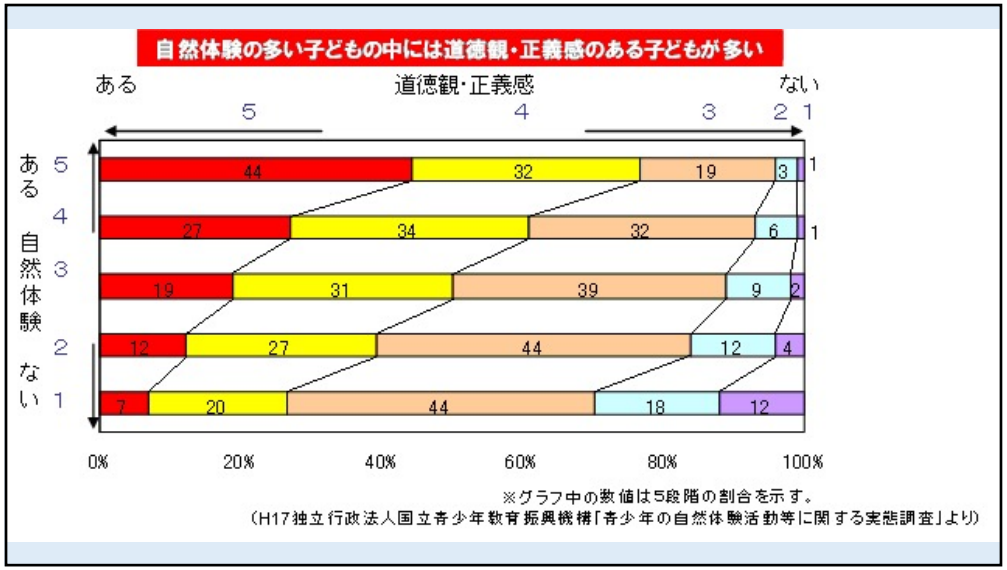
やる気

課題解決力

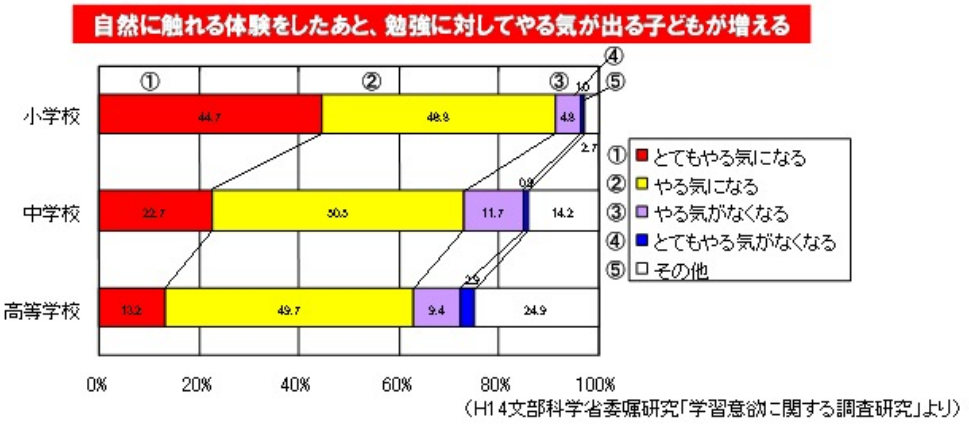
自尊感情

【文部科学省　体験活動の教育的意義より】

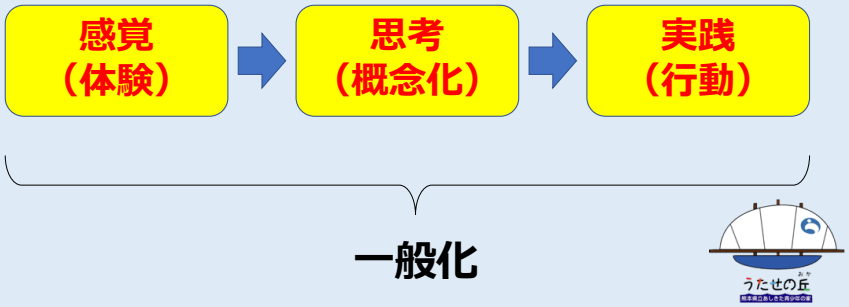
5



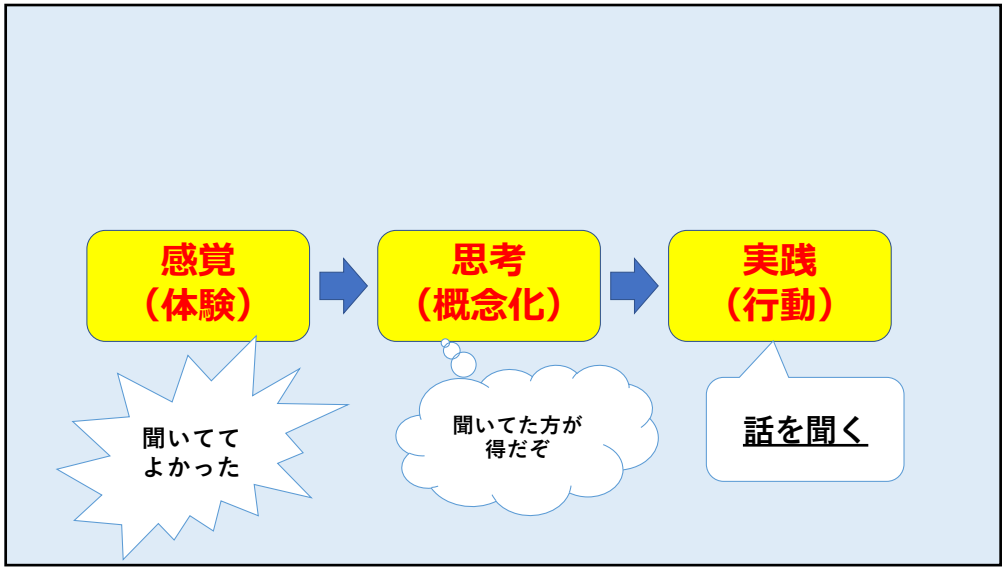
6



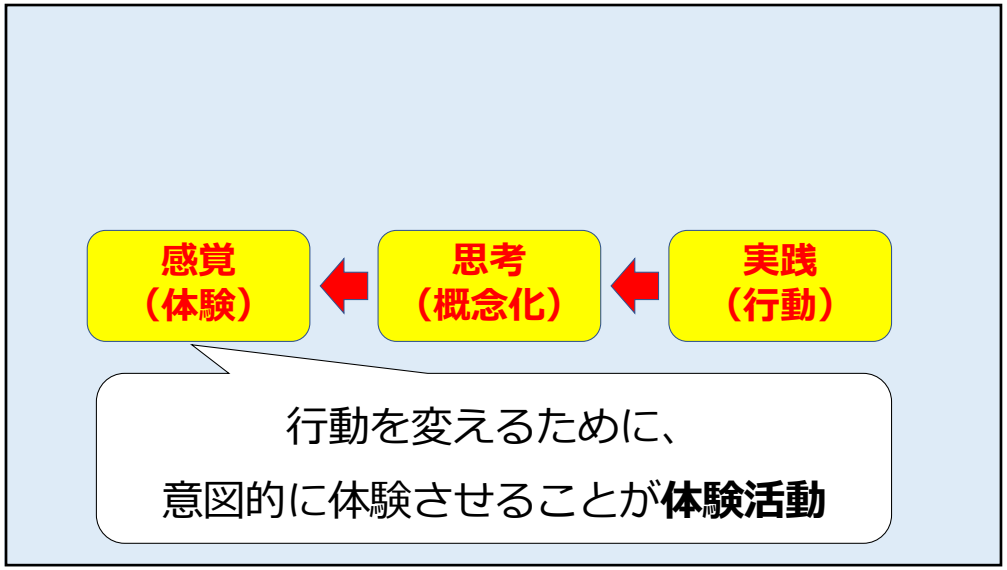
7



8



9



10

宿泊教室の意義や効果の高め方

クラス・学年の
長所と短所を知る

うたせの丘

11

宿泊教室の意義や効果の高め方

クラス・学年の
長所と短所を知る

ポイント①目的をもって宿泊教室に臨む

12

集団宿泊教室当日

B

うたせの丘

13

集団宿泊教室当日

12 B 14

うたせの丘

14

集団宿泊教室当日

A B C

うたせの丘

15

事前指導　当日指導　**事後指導**

A B C

ポイント②指導のつながりを大切にする

16

事前指導

①児童生徒の実態に合った**目的**設定（ゴール）

②目的達成のための**目標**設定（過程）

※努力によって達成できる項目を設定

17

当日指導

①主体的に行動する場面の設定「先生は透明人間」

②集団での自分の在り方を知る

③公共施設でのマナーや物品の扱い方

安全管理もお忘れなく！

18

事後指導

①宿泊教室での学び・気づきを言葉にする

②「非日常」を「日常」に落とし込む

③学んだことを共有する

19

～本時のまとめ～

集団宿泊教室(体験活動)の意義や効果を知り

やる気　**課題解決力**　**自尊感情**

目的をもって宿泊教室に臨む

指導のつながりを大切にする

20

～本時のおまけ～

・先生方もちょっと挑戦してみてはいかがでしょうか

・とにかくこれだけは譲れないことを職員で共有する

・宿泊教室に決まった形はない

・部屋長だけに指示を出す

うたせの丘

21

利用申請書類について



22

その前に…



23

あなたは旅行代理店の店員さんです
ある日、お客様から電話が

「旅行に行きたいんですけど
空いてますか？」

どんなことを聞きますか？



24

いつですか？

どこにですか？

誰がですか？

ハネムーンですか？

予算はいくらですか？



25

いつですか？　　日時

どこにですか？　あしきた青少年の家

誰がですか？　　名簿

ハネムーンですか？　目的・活動

予算はいくらですか？　手引きP10



26

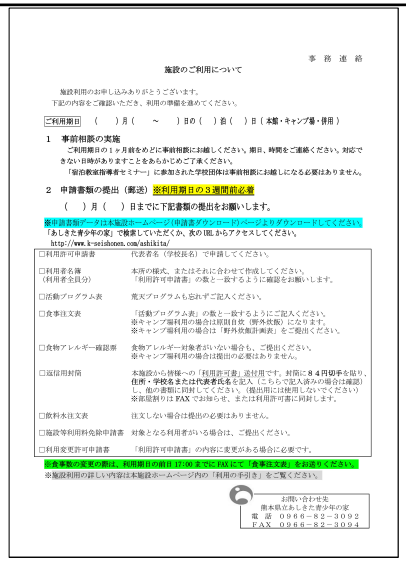
利用申請書類について

<u>もれなく</u>

<u>まちがいなく</u>

<u>おくれなく</u>

＜複数チェックをお願いします＞



事 務 連 絡

施設のご利用について

施設利用のお申し込みありがとうございます。
下記の内容をご確認いただき、利用の準備を進めてください。

ご利用期日　（　　）月（　　～　　）日の（　）泊（　）日（本館・キャンプ場・併用）

1　事前相談の実施
ご利用期日の１ヶ月前をめどに事前相談にお越しください。期日、時間をご連絡ください。対応できない日時がありますことをあらかじめご了承ください。
「宿泊教室指導者セミナー」に参加された学校団体は事前相談にお越しになる必要はありません。

2　申請書類の提出（郵送）※利用期日の３週間前必着
（　）月（　）日までに下記書類の提出をお願いします。

※申請書類データは本施設ホームページ（申請書ダウンロード）ページよりダウンロードしてください。
「あしきた青少年の家」で検索していただくか、次の URL からアクセスしてください。
http://www.k-seishonen.com/ashikita/

□利用許可申請書	代表者名（学校長名）で申請してください。
□利用者名簿 （利用者全員分）	本所の様式、またはそれに合わせて作成してください。 「利用許可申請書」の数と一致するように確認をお願いします。
□活動プログラム表	荒天プログラムも忘れずご記入ください。
□食事注文表	「活動プログラム表」の数と一致するようにご記入ください。 ※キャンプ場利用の場合は原則「野外炊飯計画表」をご提出ください。
□食物アレルギー確認票	食物アレルギー対象者がいない場合も、ご提出ください。 ※キャンプ場利用の場合は提出の必要はありません。
□返信用封筒	本施設から皆様への「利用許可書」送付用です。封筒に８４円切手を貼り、住所・学校名または代表者氏名を記入（こちらで記入済みの場合は確認）し、他の書類に同封してください。（提出用には使用しないでください） ※郵便振りは FAX でお知らせ、または利用許可書に同封します。
□飲料水注文表	注文しない場合は提出の必要はありません。
□施設等利用料免除申請書	対象となる利用者がいる場合は、ご提出ください。
□利用変更許可申請書	「利用許可申請書」の内容に変更がある場合に必要です。

※食事数の変更の際は、利用期日の前日 17:00 までに FAX にて「食事注文表」をお送りください。
※施設利用の詳しい内容は本施設ホームページ内の「利用の手引き」をご覧ください。

お問い合わせ先
熊本県立あしきた青少年の家
電 話　０９６６－８２－３０９２
ＦＡＸ　０９６６－８２－３０９４

27



28

- 利用の流れ
- 利用料金
- 集団宿泊教室
- 合宿・研修
- 幼児利用
- 日帰り利用
- 健康・安全の確保
- 出前講座

利用申請に必要な書類

この度は、本施設利用の申し込みありがとうございます。
ご利用の３週間前までに、下記の書類①～⑥をご記入の上、郵送にてご提出お願いします。

【提出書類】
①利用許可申請書　（団体の代表者名で申請して下さい）
②利用者名簿　（年齢の欄は、学年でも構いません）
③活動プログラム表　（雨天プログラムも忘れずにご記入下さい）
④-１ 食事注文票・
　アレルギー確認票　（活動プログラムと一致するようにご記入下さい）
　※食物アレルギーにつきましては、細かく記載下さい。重篤な症状のある方はご連絡下さい。
④-２ 野外炊飯計画表　（キャンプ場利用の団体は、食事内容をご記入下さい）
⑤返信用封筒　（責団体の住所、氏名をご記入の上、８４円切手を貼ったもの）※利用許可書送付用です。
⑥利用変更許可申請書　（利用許可書から変更がある場合に必要です。申請書と同じ印鑑が必要になります。）

【その他】
⑦利用中止届出書・・・申請書提出後、中止する際に提出をお願いします。
⑧利用料免除申請書・・利用料免除対象者がいる場合、利用許可申請書と併せてご提出下さい。
　→免除対象者の詳細はコチラ

【出前講座】
⑨出前講座申請書
⑩出前講座計画書

29

〒869-5454
熊本県菊池郡芦北町鶴木山
TEL 0966-82-3092
FAX 0966-82-3094

各書類ダウンロード

書類	PDF	Word	Excel
① 利用許可申請書	download	download	
② 利用者名簿	download		download
③ 活動プログラム表（本館用）	download	download	
活動プログラム表（キャンプ場用）	download	download	
④-1 食事注文表	download		download
アレルギー確認票	download	download	
飲料水注文表	download	download	
④-2 野外炊飯計画表（キャンプ場用）	download	download	
⑤ 利用変更許可申請書	download	download	
⑦ 利用中止届出書	download	download	
⑧ 使用料免除申請書	download	download	
⑨⑩ 出前講座申請書・計画書	download		download
⑪ 利用の手引き	download		

⑪マリン活動事前調査表はこちらからどうぞ　download

※記入例も添えてます。記入例を参考にしながらご記入お願いします。

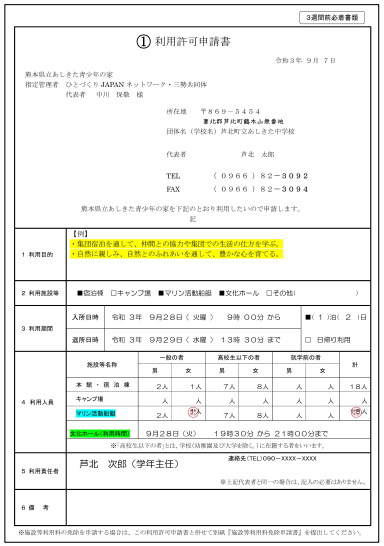
Return to

30

利用申請書類について

①利用許可申請書

・公印省略が可能になりました
・目的、日時、人数、連絡先



3週間前必着書類

① 利用許可申請書

令和３年 ９月 ７日

熊本県立あしきた青少年の家
指定管理者　ひとづくりJAPAN ネットワーク・三勢共同体
代表者　中川　保敦　様

所在地　〒８６９－５４５４
　　菊北郡芦北町鶴木山無番地
団体名（学校名）芦北町立あしきた中学校

代表者　芦北　太郎

TEL　（０９６６）８２－３０９２
FAX　（０９６６）８２－３０９４

熊本県立あしきた青少年の家を下記のとおり利用したいので申請します。

記

1 利用目的	【例】 ・集団宿泊を通して、仲間との協力や集団での生活の仕方を学ぶ。 ・自然に親しみ、自然とのふれあいを通して、豊かな心を育てる。										
2 利用施設等	■図台様　□キャンプ場　■マリン活動船舶　■文化ホール　□その他（　　）										
3 利用期間	入所日時　令和 ３年 ９月28日（ 火曜 ）　９時 ００分 から　■（１）泊（ ２ ）日 退所日時　令和 ３年 ９月29日（ 水曜 ）　１３時 ３０分 まで　□ 日帰り利用										
4 利用人員	施設等名称	一般の者		高校生以下の者		就学前の者		計			
		男	女	男	女	男	女				
	本館・宿泊棟	2人	1人	7人	8人	人	人	18人			
	キャンプ場	人	人	人	人	人	人	人			
	マリン活動船舶	2人	3人	7人	8人	人	人	18人			
	多目的ホール（利用時間）	９月２８日（火）　１９時３０分 から ２１時００分まで									
	※「高校生以下の者」とは、学校（幼稚園及び大学を除く）に在籍する者をいいます。										
5 利用責任者	芦北　次郎（学年主任）　連絡先（TEL）090－XXXX－XXXX										
	※上記代表者と同一の場合は、記入の必要はありません。										
6 備　考											

※協議等利用料の免除を申請する場合は、この利用許可申請書と併せて別紙『協議等利用料免除申請書』を提出してください。

31

利用申請書類について

②利用者名簿

・学校で自作されてもOKです
（様式は揃えてください）



② 利 用 者 名 簿

利用団体名	芦北町立あしきた中学校	研修棟希望数（合計）	カッターペーロンカヌー	1	組

番号	利用者氏名	年齢学年	性別 男	性別 女	利用内容(該当ご記入) 9/28	9/29			備考 ※手帳の等級	研修棟乗船
1	芦北 敦宏	中1	○		○	△			身体1級	○
2	芦北 文月	中1	○		○	△				○
3	芦北 翼生	中1	○		○	△				○
4	芦北 海斗	中1	○		○	△				○
5	芦北 光	中1		○	○	△				○
6	芦北 健二	中1	○		○	△				○
7	芦北 大志	中1	○		○	△				○
8	芦北 清花	中1		○	○	△				○
9	芦北 智生	中1		○	○	△				○
10	木山 詩月	中1		○	○	△			療育B2	○
11	星野 宝月	中1		○	○	△				○
12	星月 智也	中1		○	○	△				○
13	鶴木山 あかり	中1		○	○	△				○
14	星月 出香	中1		○	○	△				○
15	満福 百香子	中1		○	○	△				○
16	芦北 次郎	35	○		○	△			担任	○
17	芦之内 花子	45		○	○	△			職員（介護者）	
18	満福 優生	55	○		○	△			教頭	○
19										
20										
○印の小計（人数）			9	9	18	0	0	0		17
△印の小計（人数）					0	18	0	0	0	
合計（人数）					18	18	0	0		

利用内容欄の記入　宿泊者：○印
日帰り利用者：△印　　以上を記入してください。
※合計欄は、○印と△印の計を記入してください。
※年齢・学年は使用料徴収判定の基礎となりますので、必ず記入してください。
※研修棟（カッター艇、ペーロン艇、カヌー）の乗船者には、○を記入してください。
※備考欄には施設等利用料免除対象者の詳細（手帳の種類や等級、介護者）や、連合の場合の学校名、引率者の職名（教頭・○組担任・養護など）も記入してください。

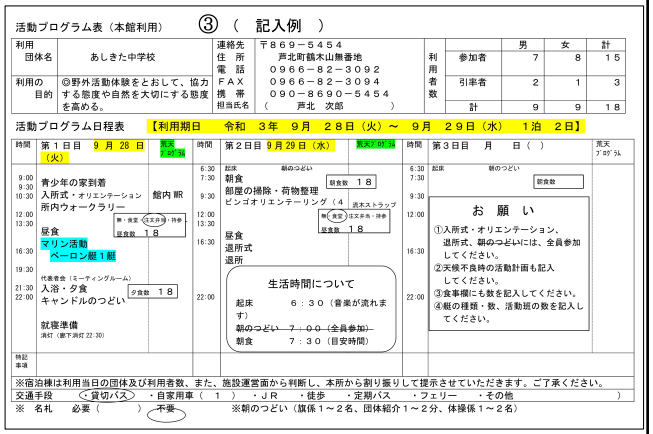
手帳がある人は備考に記入してください
年齢または学年を記入してください
連合校の場合は学校名を備考に記入してください
研修棟乗船者に○をつけてください
引率者の職名を記入してください

32

利用申請書類について

③活動プログラム表

- 班、船、食事の数
- 活動場所
- 荒天プログラム



活動プログラム表（本館利用）　③（　記入例　）

利用団体名	あしきた中学校
利用の目的	◎野外活動体験をとおして、協力する態度や自然を大切にする態度を高める。

連絡先	〒869－5454
住所	芦北町鶴木山無番地
電話	0966－82－3092
FAX	0966－82－3094
携帯	090－8690－5454
担当氏名	（　芦北　次郎　）

利用者数	男	女	計
参加者	7	8	15
引率者	2	1	3
計	9	9	18

活動プログラム日程表　【利用期日　令和　3年　9月　28日（火）～　9月　29日（水）　1泊　2日】

時間	第1日目　9月28日（火）　荒天プログラム	時間	第2日目　9月29日（水）　荒天プログラム	時間	第3日目　月　日（　）　荒天プログラム
9:00 9:30 10:30 12:00 13:30 16:30 19:30 21:30 22:00	青少年の家到着 入所式・オリエンテーション　館内 班 所内ウォークラリー （昼・夜食 ①又は② 持参） 昼食数　18 昼食 マリン活動 ベーロン艇1艇 代表者会（ミーティングルーム） 入浴・夕食 夕食数　18 キャンドルのつどい 就寝準備 消灯（原下消灯 22:30）	6:30 7:30 9:30 12:00 13:30 16:30 22:00	起床　朝のつどい 朝食 朝食数　18 部屋の掃除・荷物整理 ビンゴオリエンテーリング（4　荒天ストラップ 昼食（昼宝　①又は②　持参） 昼食数　18 昼食 退所式 退所 生活時間について 起床　6：30（音楽が流れます） 朝のつどい　7：00（全員参加） 朝食　7：30（自安時間）	6:30 7:30 9:30 12:00 16:30 22:00	起床　朝のつどい 朝食数 お　願　い ①入所式・オリエンテーション、退所式、朝のつどいには、全員参加してください。 ②天候不良時の活動計画も記入してください。 ③食事欄にも数を記入してください。 ④艇の種類・数、活動班の数を記入してください。

特記事項

※宿泊棟は利用当日の団体及び利用者数、また、施設運営面から判断し、本所から割り振りして提示させていただきます。ご了承ください。

交通手段　（貸切バス）・自家用車（　1　）・JR　・徒歩　・定期バス　・フェリー　・その他　）

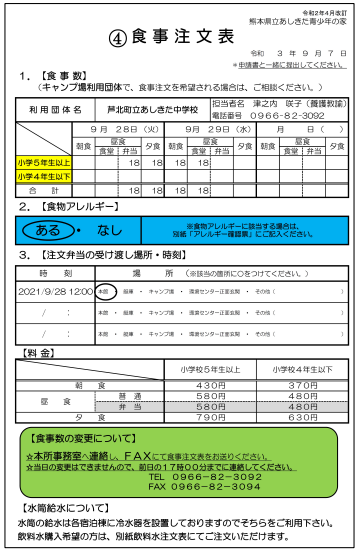
※　名札　必要（　　）　不要

※朝のつどい（旗係1～2名、団体紹介1～2分、体操係1～2名）

利用申請書類について

④食事注文表

- 注文弁当受け渡し場所・時間
- 食事時間の確認（手引きP12）
- 数人のキャンセルは前日17時まで
  →書き換えたものをFAX



令和2年4月改訂
熊本県立あしきた青少年の家

④食事注文表

令和　3年9月7日
＊申請書と一緒に提出してください。

1．【食事数】
（キャンプ場利用団体で、食事注文を希望される場合は、ご相談ください。）

利用団体名	芦北町立あしきた中学校	担当者名　津之内　咲子（養護教諭） 電話番号　0966-82-3092

	9月28日（火）			9月29日（水）			月　日（　）		
	朝食	昼食 食堂	昼食 弁当	夕食	朝食	昼食 食堂	昼食 弁当	夕食	朝食	昼食 食堂	昼食 弁当	夕食
小学5年生以上			18	18	18	18						
小学4年生以下												
合　計			18	18	18	18						

2．【食物アレルギー】

（ある）・　なし　　※食物アレルギーに該当する場合は、別紙「アレルギー確認票」にご記入ください。

3．【注文弁当の受け渡し場所・時刻】

時　刻	場　所　（※該当の箇所に○をつけてください。）
2021/9/28 12:00	（昼食）　昼庫　・　キャンプ場　・　湯倉センター正面玄関　・　その他（　　）
/　：	本館　・　昼庫　・　キャンプ場　・　湯倉センター正面玄関　・　その他（　　）
/　：	本館　・　昼庫　・　キャンプ場　・　湯倉センター正面玄関　・　その他（　　）

【料　金】

	小学校5年生以上	小学校4年生以下
朝　食	430円	370円
昼　食　普　通	580円	480円
昼　食　弁　当	580円	480円
夕　食	790円	630円

【食事数の変更について】
☆本所事務室へ連絡し、FAXにて食事注文表をお送りください。
☆当日の変更はできませんので、前日の17時00分までに連絡してください。
TEL　0966－82－3092
FAX　0966－82－3094

【水筒給水について】
水筒の給水は各宿泊棟に冷水器を設置しておりますのでそちらをご利用下さい。
飲料水購入希望の方は、別紙飲料水注文表にてご注文いただけます。

利用申請書類について

⑤食物アレルギー確認票

- ○人います
- 症状、程度まで記入
- 記入者に確認連絡がある場合あり



⑤

食物アレルギー確認票（※アレルギーの有無にかかわらず、必ず提出してください。）

3週間前必着書類

熊本県立あしきた青少年の家

団体名	芦北町立あしきた中学校	記入者名	津之内　咲子
利用期間	令和　3年　9月　28日（火）～　9月　29日（水）		

食物アレルギーを持った利用者が（2人います。）／　いません。
（※どちらかに○をつけてください。）

【記入例】

No.	氏名	性別	アレルゲン（食材）	主な症状	程度（対応）	確認・相談先
1	芦北　太郎	男	卵	蕁麻疹	生食は不可 つなぎでの使用、及び火が通してあるものは可	保護者・病院 その他（　）
2	雷野　花子	女	そば	呼吸困難	完全除去が必要	保護者・病院 その他（　）
3	菊池　三郎	男	エビ	蕁麻疹	除去すれば、食べられる	保護者・病院 その他（　）学校

No.	氏名	性別	アレルゲン（食材）	主な症状	程度（対応）	確認・相談先
1	予備　健二	男	えび・かに	呼吸困難 アナフィラキシー	完全除去	保護者・病院 その他（　）
2	鎌和山　あかり	女	牛乳・卵	蕁麻疹	牛乳：生食は不可 卵：つなぎでの使用は可	保護者・病院 その他（　）
3						保護者・病院 その他（　）
4						保護者・病院 その他（　）

◆枠が不足する場合は、この用紙をコピーしてください。
◆アナフィラキシー・ショックなど特に症状が重篤な方については、この票への記入だけでなく、必ず青少年の家まで直接ご相談ください。
◆この票に記入された利用者が食事をする際には、当日、食堂で確認をしてください。食堂の職員からどのような対応をしているかについて、説明を致します。
◆本票にて事前に申告されていない食物アレルギーについては、代替食等の対応ができません。

【メモ】（※施設職員使用欄）

利用申請書類について

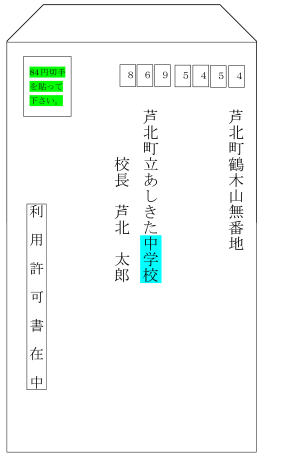
⑥返信用封筒

あしきた青少年の家が学校へ
「利用許可書」を送るために使います

- 宛名記入
- 切手を貼ってください

⑥返信用封筒

（あしきた青少年の家から学校宛に「利用許可書」送付時に使います）



利用申請書類について

⑦飲料水注文表

・支払は現金または振込
・飲料水の支払いだけ食堂へ
　直接支払います



⑦ 飲料水注文表

利用団体名		担当者氏名	
		電話番号	
施設利用月日	令和　年　月　日（　）～　月　日（　）		

品　名（500ml ペットボトル）	単　価（円）	数　量（本）	受け渡し日
アクエリアス	１３０		令和　年　月　日（　）
お～い　お茶	１３０		時　間
真 っ 清 水	１２０		受け渡し及び支払い場所　食堂

品　名（500ml ペットボトル）	単　価（円）	数　量（本）	受け渡し日
アクエリアス	１３０		令和　年　月　日（　）
お～い　お茶	１３０		時　間
真 っ 清 水	１２０		受け渡し及び支払い場所　食堂

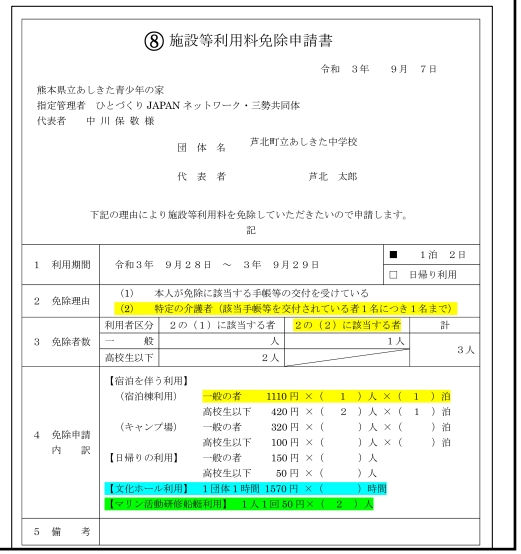
※申し込み及び数の変更は、利用日の１週間前までにFAXにてお願いします。

【問い合わせ先】
熊本県立あしきた青少年の家
FAX（0966）82−3094
TEL（0966）82−3092

利用申請書類について

⑧施設等利用料免除申請書

・公印省略可
・手引きP11
・身体障がい者手帳等のコピーを
　利用当日に見せて等級を確認
　させてください



⑧ 施設等利用料免除申請書

令和　3年　9月　7日

熊本県立あしきた青少年の家
指定管理者　ひとづくり JAPAN ネットワーク・三勢共同体
代表者　中 川 保 敬 様

団 体 名　芦北町立あしきた中学校
代 表 者　芦北　太郎

下記の理由により施設等利用料を免除していただきたいので申請します。
記

1　利用期間	令和３年　９月２８日　～　３年　９月２９日	■　１泊　２日 □　日帰り利用
2　免除理由	（1）　本人が免除に該当する手帳等の交付を受けている （2）　特定の介護者（該当手帳等を交付されている者１名につき１名まで）	
3　免除者数	利用者区分：一般 ／ 高校生以下 2の（1）に該当する者：人 ／ ２人 2の（2）に該当する者：１人 計：３人	
4　免除申請内訳	【宿泊を伴う利用】 （宿泊棟利用）　一般の者　1110 円 ×（　1　）人 ×（　1　）泊 高校生以下　420 円 ×（　2　）人 ×（　1　）泊 （キャンプ場）　一般の者　320 円 ×（　　）人 ×（　　）泊 高校生以下　100 円 ×（　　）人 ×（　　）泊 【日帰りの利用】　一般の者　150 円 ×（　　）人 高校生以下　50 円 ×（　　）人 【文化ホール利用】　1 団体 1 時間 1570 円 ×（　　）時間 【マリン活動研修拡幅利用】　1 人 1 回 50 円 ×（　2　）人	
5　備　考		

利用申請書類について

⑨利用変更許可申請書

・公印省略可
・雨が降ってマリン活動が中止
・〇人欠席になった
・利用期間が変更になった
　（コロナ、台風等）



⑨ 利 用 変 更 許 可 申 請 書

令和３年　月　日

入所日を記入する

熊本県立あしきた青少年の家
指定管理者　ひとづくり JAPAN ネットワーク・三勢共同体
代表者　中 川 保 敬 様

団体名（学校名）　芦北町立あしきた中学校
代表者　芦北　太郎

令和　年　月　日付け（指定）あし青少第　号で許可を受けた熊本県立あしきた青少年の家の施設利用に関し、下記のとおり利用を変更したいので申請します。

記

変更項目（〇で囲んでください）	利用期間　・　利用人員								
変更理由									
変更後の利用期間	令和　年　月　日（　）　時　分から 令和　年　月　日（　）　時　分まで								
変更後の利用人数	施設等名称	一般の者		高校生以下の者		就学前の者		計	
		男	女	男	女	男	女		
	本 館・宿 泊 棟	人	人	人	人	人	人	人	
	キャンプ場	人	人	人	人	人	人	人	
	マリン活動拡幅	人	人	人	人	人	人	人	
	文化ホール（利用時間）	時　分から　時　分まで							

利用申請書類について

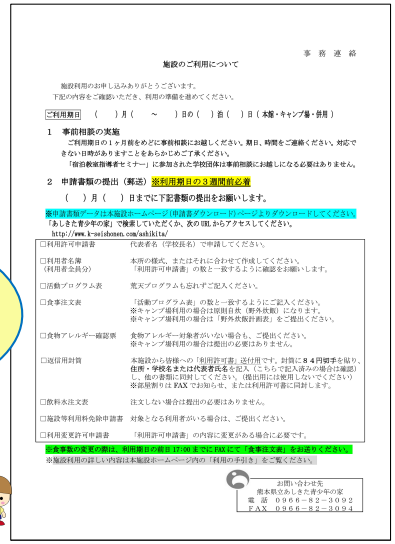
もれなく

まちがいなく

おくれなく

＜複数チェックをお願いします＞





事 務 連 絡

施設のご利用について

施設利用のお申し込みありがとうございます。
下記の内容をご確認いただき、利用の準備を進めてください。

ご利用期日　（　）月（　）　～　（　）日の（　）泊（　）日（ 木曜・キャンプ場・併用 ）

1　事前相談の実施
　ご利用期日の１ヶ月前をめどに事前相談にお越しください。期日、時間をご連絡ください。対応できない日時がありますことをあらかじめご了承ください。
　「宿泊教室指導者セミナー」に参加された学校団体は事前相談にお越しになる必要はありません。

2　申請書類の提出（郵送）※利用期日の３週間前必着
　（　）月（　）日までに下記書類の提出をお願いします。

※申請書類データは本施設ホームページ申請書ダウンロードページよりダウンロードしてください。
「あしきた青少年の家」で検索していただくか、次のURLからアクセスしてください。
http://www.k-seishonen.com/ashikita/

□利用許可申請書　代表者名（学校長名）で申請してください。
□利用者名簿（利用者全員分）　本所の様式、または それに合わせて作成してください。「利用許可申請書」の数と一致するように確認をお願いします。
□活動プログラム表　荒天プログラムも忘れずご記入ください。
□食事注文表　「活動プログラム表」の数と一致するようにご記入ください。※キャンプ場利用の場合は別日程（野外炊飯）になります。※キャンプ場利用の場合は「野外炊飯計画表」をご提出ください。
□食物アレルギー確認票　食物アレルギー対象者がいない場合も、ご提出ください。※キャンプ場利用の場合は提出の必要はありません。
□返信用封筒　本施設から皆様への「利用許可書」送付用です。封筒に８４円切手を貼り、住所・学校名または代表者氏名を記入（こちらで記入済みの場合は確認）し、他の書類に同封してください。（捺印用には使用しないでください）※荒屋敷割りは FAX でお知らせ、主たる利用許可書に同封します。
□飲料水注文表　注文しない場合は提出の必要はありません。
□施設等利用料免除申請書　対象となる利用者がいる場合は、ご提出ください。
□利用変更許可申請書　「利用許可申請書」の内容に変更がある場合に必要です。

※食事数の変更の際は、利用期日の前日 17:00 までに FAX にて「食事注文表」をお送りください。
※施設利用の詳しい内容は本施設ホームページ内の「利用の手引き」をご覧ください。

お問い合わせ先
熊本県立あしきた青少年の家
電 話　0966−82−3092
FAX　0966−82−3094

安全管理と感染症対策

41

安全管理と引率者の役割

学校での日々の教育活動と同様に、学びのある、効果的な体験活動も「安全」という土台の上に成り立っています。

・マリン活動
・野外活動
・創作活動
・食事（食物アレルギーの対応）
・その他、活動外の時間帯

42

安全管理と引率者の役割

- いつもと違う環境
（いつもと違う場所、初めて来た場所、チャイムなし
子どもたちの心境ワクワク・ソワソワ）
- 目の届きにくい場所や時間帯
- 引率者全員で安全を守る
（声かけ、見守り、役割分担、安全意識の向上）
- 施設職員との密な連絡

43

安全管理と引率者の役割

食物アレルギー対応
「利用の手引き」１２ページ、３３ページ

・食事注文表、食物アレルギー確認表
・食堂と食物アレルギー対応について利用前に確認
・当日は毎食１５分前を目処に代替食の受け渡し

44

感染症対策と事前準備

・３密回避（密閉・密集・密接）
・体調管理（手洗いうがい、手指の消毒）
・小まめな健康観察（朝・夕や活動前後）
・モノの取り扱いや、消毒
・体調不良者発生時の対応（連絡先・役割）

45

感染症対策と事前準備



46

生活面での取り組み（１）

基本的な感染防止対策

- 各種人数の制限（概ね半数程度）
  宿泊、食堂、風呂、活動人数の制限
- 利用前 → 利用中 → 利用後の体調管理と健康観察
- 利用者発症時の対応

47

生活面での取り組み（２）


新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動プログラム

活動プログラム	従来の人数	コロナ対応人数（50%以下）	留意点
マリン活動 ベーコン乗船（全5艇）	1艇当たりの乗船人数 小学生：15人 中学生：15人 高校生以上：25人	1艇当たりの乗船人数 全対象：10人（船長、乾坤り含む）	・集合時・安全指導中のマスク着用。ライフ等の着脱を防止するものでも可 ・大声での指導・掛け声の発声（ホしない（ドラやマイク等を使用） ・海上研修は60分以内 ・ベーロンとカター合わせて最大5艇、湾内のみの活動
カター乗船（全5艇）	1艇当たりの乗船人数 小学生：15人 中学生：15人 高校生以上：25人	1艇当たりの乗船人数 全対象：10人（船長、乾坤り含む）	・活動前に研修室で映像教材を視聴 ・船乗へ出発する前に研修生は軍手を着用 ・乾坤りは青少年の室の職員が行う
カヌー（全6艇）	1艇あたりの乗船人数 1～3人	1艇あたりの乗船人数 2人	・家族でのみ利用可能 ・海内のみ
磯観察	100人	50人	・パディシュタムは、目標による安全確認を行う ・全員１人１部資料を配布する。（「探検バッグ」等の個人用バインダー持参） ・船ボボの貸し出しは当面の間中止
海水浴	150人	70人	・パディシュタムは、目標による安全確認を行う ・活動前に研修室で映像教材を視聴（安全面について） ・間隔を空けてのシャワー
インドアゴニーバッグ	400人	200人	・1班の人数は4人以下 ・集合時・話し合い時はマスクの着用 ・熱中症対策のため、フェイスシールドの着用推奨（創作活動で作成可） ・活動中2m以上の間隔がとれるのであればマスクを外してもよい ・こまめな休憩（30～30分に1回を目安） ・道具の貸し借り中受け渡しは不可 ・全員１人１枚マップを配布（「探検バッグ」等の個人用バインダー持参）
海内ウォークラリー	300人	150人	
フォトウォークラリー	400人	200人	
コンパスゲーム	100人	不可	2m以上の間隔がとれない → 当面の間中止
海内ウォークラリー	200人	100人	・1班の人数は4人以下 ・室内はマスクの着用（フェイスシールド等でも可） ・こまめな休憩（30～30分に1回を目安） ・道具の貸し借り中受け渡しは不可 ・全員１人１枚マップを配布（「探検バッグ」等の個人用バインダー持参）
海内ゲーム	100人	50人	
ナイトゲーム	1コース100人（全3コース）	1コース50人（全2コース）	・1班の人数は4人以下 ・焼中電灯は全員１人１個持参する（貸し借り不可） ・マスク着用（2m以上の間隔がとれるのであれば外してもよい）
夜の散歩（自主）	100人	50人	・焼中電灯は全員１人１個持参する（貸し借り不可） ・室内はマスク着用 ・室外は2m以上の間隔がとれるのであればマスクを外してよい ・話し合い・集合時はマスク着用
星空観察（自主）	200人	100人	・室内はマスク着用 ・室外は2m以上の間隔がとれるのであればマスクを外してよい ・話し合い・集合時はマスク着用
フライングディスクゴルフ	50人	50人	・1班の人数は4人以下 ・マスク着用 ・大声や掛け声、ハイタッチ等の身体的接触の禁止 ・2m以上の間隔がとれるのであればマスクを外してよい
グラウンドゴルフ	50人	50人	
ガガ	30人	30人	・1班の人数は4人以下 ・マスク、軍手などの手袋着用 ・大声や掛け声、ハイタッチ等の身体的接触の禁止 ・換気を常に行う
ドッジビー	100人	50人	


健康観察・検温記録表

団体名：
氏　名：

コロナウイルス感染予防のため、ご利用2週間前からの健康観察・検温にご協力お願いします。
※1利用期日中の1日目：朝」までの検温を実施したとて、お越しください。
※利用初日に各団体の代表者・引率者に提出し、利用期間中は毎日朝・夜の健康観察・検温を実施してください。

利用前	期日	検温時間	体温	その他の症状						
				37.5℃以上の熱	だるさ	息苦しさ	咳	喉の痛み	味覚・嗅覚の低下	その他
記入例	8月1日	8 時	36.5 ℃				✔			鼻水
14日前	月 日	時	℃							
13日前	月 日	時	℃							
12日前	月 日	時	℃							
11日前	月 日	時	℃							
10日前	月 日	時	℃							
9日前	月 日	時	℃							
8日前	月 日	時	℃							
7日前	月 日	時	℃							
6日前	月 日	時	℃							
5日前	月 日	時	℃							
4日前	月 日	時	℃							
3日前	月 日	時	℃							
2日前	月 日	時	℃							
1日前	月 日	時	℃							

利用中	期日	検温時間	体温	その他の症状						
				37.5℃以上の熱	だるさ	息苦しさ	咳	喉の痛み	味覚・嗅覚の低下	その他
記入例	8月1日	8 時	36.5 ℃				✔			鼻水
1日目：朝	月 日	時	℃							
1日目：夜	月 日	時	℃							
2日目：朝	月 日	時	℃							
2日目：夜	月 日	時	℃							

48

生活面での取り組み（３）

【食事について】	
共　通	レストランへの入退室や、配膳待ちの列は、前後の人との間隔を開けてください。
共　通	食事の前には、手洗いと手指消毒をお願いします。
共　通	食事中は大声での談笑を控えてください。食事後は他の人を待つのではなく、可能な範囲で速やかに、分散して退室できるよう工夫してください。
引率者	食事終了後、食堂スタッフと協力して使用した机や椅子の清拭消毒をお願いします。
【入浴について】	
共　通	他団体との入浴時間を分けるため、時間帯を指定します。指定された時間以外の入浴はできません。
引率者	引率者の入浴は別途指定します。他団体の引率者と同じ時間帯になることがあります。
引率者	各団体使用後はドアノブ、スイッチ等の清拭消毒をお願いします。

うたせの丘

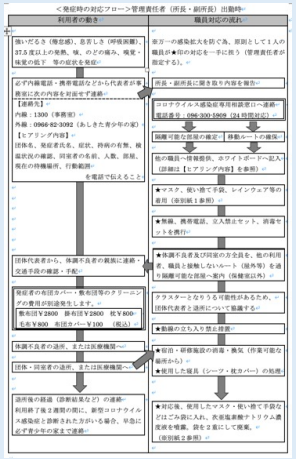
生活面での取り組み（４）

基本的な感染防止対策

- 利用者発症時の対応
  - ・引率者から事務室へ報告
  - ・症状等のヒアリング調査、発症者（同室者）の隔離
  - ・専用窓口への相談
  - ・団体動向の検討（研修継続？緊急退所？）
  - ・翌日からの利用予定団体へのアナウンス
  - ・退所後の経過観察（病院受診の結果等）

うたせの丘

生活面での取り組み（５）


＜発症時の対応フロー＞管理責任者（所長・副所長）出勤時

利用者の動き	職員対応の流れ
「いつだるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、37.5度以上の発熱、咳、のどの痛み、嗅覚・味覚の低下　等の症状を発症	市万一の感染拡大を防ぐ為、原則として１人の職員が★印の対応を一手に担う（管理責任者が指定する）。
必ず内線電話・携帯電話などから代表者が事務室に次の内容を対面せず連絡 【連絡先】 内線：1300（事務室） 外線：0960-62-3092（あしきた青少年の家） 【ヒアリング内容】 団体名、発症者氏名、症状、持病の有無、検温状況の確認、同室者の名前、人数、部屋、発症の時機確認、行動範囲 を電話で伝えること	所長・副所長に聞き取り内容を報告
	コロナウイルス感染症専用相談窓口へ連絡 電話番号：096-300-5909（24時間対応）
	隔離可能な部屋の確定・移動ルートの確保
	他の職員へ情報提供、ホワイトボードへ記入 （詳細は【ヒアリング内容】を参照）
	★マスク、使い捨て手袋、レインウェア等の着用（参照紙１参照）
	★無線、携帯電話、立入禁止セット、消毒セットを携行
団体代表者から、体調不良者の親族に連絡・交通手段の確認・手配	★体調不良者及び同室の方全員を、他の利用者、職員と接触しないルート（屋外等）を通り隔離可能な部屋へ案内（保健室以外）
発症者の布団カバー・敷布団等のクリーニングの費用が別途発生します。 敷布団￥2800　掛布団￥2800　枕￥800 毛布￥800　布団カバー￥100　（税込）	クラスターとなりうる可能性があるため、団体代表者と途所について協議する。
	★動線の立ち入り禁止措置
体調不良者の送迎、または医療機関への	★宿泊・研修施設の消毒・換気（作業可能な箇所から）
団体・同室者の途所、または医療機関への	★使用した寝具（シーツ・枕カバー）の処理
途所後の経過（診断結果など）の連絡 利用終了後２週間の間に、新型コロナウイルス感染症と診断された方がいる場合、早急に必ず青少年の家まで連絡	★対応後、使用したマスク・使い捨て手袋などはゴミ袋に入れ、次亜塩素酸ナトリウム濃度液を噴霧、袋を２重にして廃棄。 （参照紙２参照）


ヒアリング用紙

令和　年　月　日（　）
聞き取り時刻：
聞き取り者（職員）：
回答者（引率者）：

①団体名	
②発症者氏名（年齢）	
③症状	①頭痛はありますか（はい・いいえ） ②体のだるさはありますか（はい・いいえ） ③腹痛はありますか（はい・いいえ） ④下痢の症状はありますか（はい・いいえ） ⑤のどの痛みはありますか（はい・いいえ） ⑥味やにおいはいつもと同じくらいに感じますか（はい・いいえ） ⑦もともと熱が出やすいですか（はい・いいえ） ⑧２週間前検温で発熱がありましたか（はい・いいえ）
④検温での異常確認	①平熱は　　℃ ②直近の検温報告　朝：　　℃　　夜間：　　℃
⑤持病の有無	①持病はありますか（はい・いいえ） ②どんな持病ですか（　　）
⑥２週間前の行動・履歴・接触歴	①２週間前の間に地元以外に出かけましたか（はい・いいえ） ②どこにでかけましたか（　　） ③人が集まるところ（カラオケボックスやスポーツジム等）に行きましたか（はい・いいえ） ④現時点で感染の多い地域の人との接触はありましたか（はい・いいえ）
⑦同居感染者の有無	同りの人に感染者はいますか（はい・いいえ）
⑧発症者の宿泊室	
⑨同室者の氏名・持病の有無	【同室者氏名】　【持病の有無】【検温結果】（　「③症状」の有無） ①　（あり・なし）　℃ ②　（あり・なし）　℃ ③　（あり・なし）　℃ ④　（あり・なし）　℃ ⑤　（あり・なし）　℃
⑩発症者の現在地（待機場所）	①発症者 ②同室者
⑪発症者の行動範囲（使用した研修室（可能な範囲で）	
備考等	

うたせの丘

活動支援における取り組み（１）

野外活動資料の事前提供
施設HPからダウンロードできるように

- 従来：活動の初めに、班に１セットずつ配り、回収
- コロナ禍：事前に子どもたちのしおりに

三密回避・自分ごと・消毒作業不要

うたせの丘

活動支援における取り組み（２）

野外活動資料の事前提供
施設HPからダウンロードできるように



うたせの丘

活動支援における取り組み（３）

マリン活動　使用物品の消毒
櫂（オール）やライフジャケット、研修艇



消毒用プールを設置。
使用後は消毒後、水洗いをして返却。



定員を半数としているので、２交代の場合も。
乗船者が入れ替わる度に座面等の消毒と拭きあげ。